

# 平成16年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成15年 8月 8日

上場会社名 株式会社 松 風

（コード番号：7979 大証第2部）

（URL <http://www.shofu.co.jp/>）

代表者 代表取締役取締役社長 太田 勝也

問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 白波瀬 文雄

（TEL：(075) 561-1112（代表））

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無：  
有  
（内容）税金費用の計算については、簡便法を採用している。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無：  
無

## 2. 平成16年3月期第1四半期の業績概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

### (1) 経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満切捨）

	売上高		営業利益		経常利益		当期（四半期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年 3月期第1四半期	3,651		362		388		213	
15年 3月期第1四半期								
（参考）15年 3月期	14,314	2.3	1,183	11.4	985	5.9	331	45.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
16年 3月期第1四半期	20 22	
15年 3月期第1四半期		
（参考）15年 3月期	30 91	

（注）1. 前年同四半期の売上高、営業利益等の金額及び同増減率におけるパーセント表示は、前年同期において四半期決算を行っていないため、記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため、記載しておりません。

### [ 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等 ]

長引く国内経済状況の混迷の中、一般消費動向も低迷を続けておりますが、売上では常温重合レジン「プロビナス」などの新製品の市場投入が寄与し、売上高はほぼ予想どおりに推移いたしました。

利益面では重症急性呼吸器症候群（SARS）問題などのために海外渡航の自粛や諸経費の未消化による経費の支払が軽減されたこと、又四半期末時点の為替レートによる換算差益が発生したことにより、当四半期では予想を上回る利益となりました。

### (2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年 3月期第1四半期	22,224	16,442	74.0	1,555 78
15年 3月期第1四半期				
（参考）15年 3月期	21,692	16,185	74.6	1,530 88

（注）前年同四半期の財政状況は、前年同期において四半期決算を行っていないため、記載しておりません。

### [ 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等 ]

特に大きな変動はなく、順調に推移いたしております。

(参考1) 四半期個別経営成績等の概況(平成15年4月1日～平成15年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期)純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	3,309	266	345	194

	総資産	株主資本
	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	20,398	15,184

3. 平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	7,194	479	289	27 43
通期	14,451	956	571	54 09

[業績予想に関する定性的情報等]

当第1四半期では特に利益面で予想を上回る業績となりましたが、今後の見通しにつきましては、本格的に影響が懸念される医療費の本人三割負担による需要の停滞に対応すべく経費支出の発生が見込まれることなどから、現段階で中間期及び通期の業績見通しについて変更を行なうまでの景況判断には至っておりません。従いまして中間期及び通期の連結業績予想につきましては、期初の予想を変更しておりません。

(参考2) 平成16年3月期の個別業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり年間予想配当金		
				中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	6,435	291	202	8 00	- -	- -
通期	12,887	552	362	- -	10 00	18 00

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上